

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-38336

(43)公開日 平成8年(1996)2月13日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 G 27/00	B			
B 3 2 B 5/26		9349-4F		
9/02		9349-4F		

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平6-180059

(22)出願日 平成6年(1994)8月1日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 松田 功

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72)発明者 荻野 隆子

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74)代理人 弁理士 小銀治 明 (外2名)

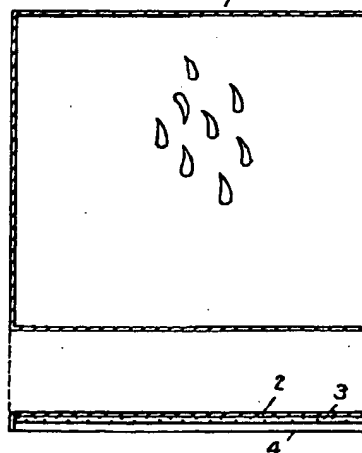
(54)【発明の名称】 電気カーペット用カバー

(57)【要約】

【目的】 本発明は、綿素材を表面に使用し、肌にやさしく、耐久性、洗濯性にすぐれた電気カーペット用カバーを提供する。

【構成】 表面を綿の織り生地2とし、ポリウレタンフォーム3と、不織布4を一体に接着積層した構成。

- 1 電気カーペット用
カバー本体
- 2 織り生地
- 3 ポリウレタンフォーム
- 4 裏生地(不織布)



【特許請求の範囲】

【請求項1】 綿の織り生地を表面とし、不織布等の裏地と接着積層し、一体に構成した電気カーペット用カバー。

【請求項2】 織り生地は、少なくとも縦糸で地組織、横糸で風合を構成し、少なくとも横糸は綿素材とし、かつ生地は少なくとも表面側横糸を起毛加工し、内部にウレタンフォームを介し、裏生地はニードルパンチ不織布を使用して、それぞれを接着積層した請求項1に記載の電気カーペット用カバー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は電気カーペット用カバーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来の電気カーペット用カバーは、素材にポリエステル、アクリル、ナイロン、ウール等が使用され、組織はタフト、ウィルトン織り、ラッセル縞み等が使用されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら上記従来の素材では、近年特に多くなったと言われているアトピー性の人々に象徴されるように、肌の弱い人にとっては、安心して使用することができないものであった。

【0004】 また、従来の組織では、織りや縞み後の裏面に樹脂のバックリング処理が必要であり、重く、高くて、小さく折りたたむことが困難であり、さらに、樹脂のバックリングが水洗いやドライクリーニングに弱く、家庭で簡単に洗えるものではなかった。

【0005】 そこで、本発明の電気カーペット用カバーは、裏面素材に綿を使用し、肌にやさしい電気カーペット用カバーを提供することを第1の目的としている。

【0006】 第2の目的は、敷物としての腰、耐久性、クッション性を確保し、さらに家庭で簡単に洗濯ができる電気カーペット用カバーを提供することである。

【0007】

【課題を解決するための手段】 そして上記目的を達成するために、本発明の電気カーペット用カバーは綿の織り生地を表面側とし、不織布等の裏生地と接着積層し、一体に構成した。

【0008】 また、織り生地は、少なくとも縦糸で地組織、横糸で風合を構成し、少なくとも横糸は綿素材とし、かつ織り生地の少なくとも表面側横糸を起毛加工した。そして、織り生地と裏生地を内部にウレタンフォームを介し、裏生地はニードルパンチ不織布を使用して、それぞれを接着積層したものである。

【0009】

【作用】 本発明は上記した構成により、人が使用する表面は綿素材であるので、肌の弱い人にとって天然素材の

やさしさが実現される。

【0010】 また、ウレタンフォームを介して裏生地に不織布を接着積層した構成により、織り生地だけでは得られない敷物としての腰、クッション性がある。さらに、接着積層構成であるので、水洗いに強く、折り畳みや、巻付けが容易で洗濯機による洗濯が可能になる。もちろんドライクリーニングも可能になる。

【0011】

【実施例】 以下本発明の電気カーペット用カバーの一実施例を図面に基づいて説明する。

【0012】 図1、図2において、織り生地2と、ポリウレタンフォーム3と、裏生地4を接着積層している。そして、織り生地2は、横糸aを綿素材とし、縦糸bとで構成し、横糸aに起毛加工を施し、繊維を表面に浮き出させている。

【0013】 そして、横糸は番手10/3を使用し、ポリウレタンフォームは2～4mmを使用し、不織布は70～100g/m²とした。

【0014】 次にこの実施例の構成における作用を説明する。本発明の電気カーペット用カバーは、織り生地の綿素材を表面に浮き出させることで、使用する人に天然素材のやさしさと安心を与える。そして、ウレタンフォームと、不織布が敷物としての使用感、腰、耐久性、洗濯性の向上を果たしている。

【0015】

【発明の効果】 以上のように本発明の電気カーペット用カバーによれば、表面に綿素材を使用していることから、肌の弱い人も電気カーペットを安心して使用することができる。

【0016】 次にウレタンフォームと不織布を綿の織り生地に接着積層していることから、敷物としての使用感が良く、耐久性が高く、洗濯性を向上させる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例における電気カーペットカバーの概略図

【図2】 (A) 本発明の一実施例における織り生地の斜視図

(B) 本発明の一実施例における織り生地の部分断面図

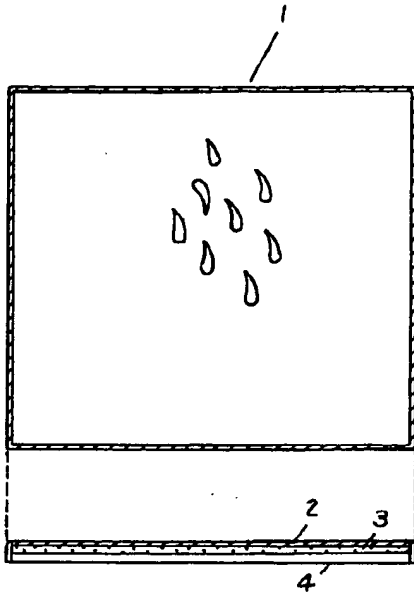
【図3】 本発明の一実施例における部分断面図

【符号の説明】

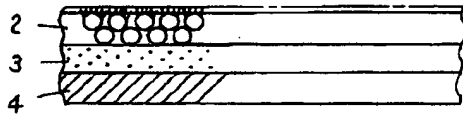
- 1 電気カーペット用カバー本体
- 2 織り生地 (綿)
- 3 ポリウレタンフォーム
- 4 裏生地 (不織布)
- a 横糸 (綿)
- b 縦糸
- c 起毛部

【図1】

- 1 電気カ ベット用
カバー本体
- 2 織り生地
- 3 ポリウレタンフォーム
- 4 裏生地(不織布)



【図3】



【図2】

- a ココ糸(銅)
- b タテ糸
- c 起毛部

